



# GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER 国際ロータリー第 2830 地区  
2024-25 年度 ガバナー月信

10  
No.4



米山フォーラム(米山のつどい)にて、米山記念奨学生の皆さんと。(9/21)

前列右端は第5代よねやま親善大使の陳瑶さん、前列左端は  
関西米山学友会会長で当地区の米山学友の呉偉偉さんです。

## 主な内容

- ・ 巻頭言
- ・ 今月のガバナーメッセージ
- ・ 月間テーマ
- ・ ロータリー特別月間

- ・ ガバナー公式訪問
- ・ ガバナー補佐紹介
- ・ インターアクトクラブ活動報告

国際ロータリー第2830地区事務所  
〒030-0812 青森市堤町1丁目1-23 ホテル青森内  
TEL.0173-732-2830/FAX.017-732-2831  
E-MAIL rid2830@outlook.jp

## 巻頭言

ガバナー 花田 勝彦

9月後半にはぐずついた天気が続き、一雨ごとに気温が下がって、朝晩はめっきり肌寒く感じるようになりました。ロータリアンの皆様はいかがお過ごしでしょうか。

私は、9月に15クラブの公式訪問を終え、残るは3クラブとなりました。地区大会前には全クラブの訪問を終える予定です。行く先々で歓迎していただき、お土産を下さるクラブも多く、大変感謝しております。8月28日には56歳の誕生日を迎えることができました。その日は青森北東RCの公式訪問で、本間会長から誕生日のお祝いのお花を頂戴いたしました。この場を借りてお礼申し上げます。



8月31日、第2540地区(秋田)の佐藤和志ガバナーからお誘いがあり、かの有名な大曲の花火大会に夫婦で行ってまいりました。前日からの激しい雨でどうなることかと心配しましたが、何とか雨も上がって、素晴らしい花火を堪能することができました。色を楽しむ珍しい「昼花火」や、ディズニーをテーマとしたドローンショーなど、普通の花火大会から更に進んだエンターテインメントショーを見る感じがしました。皆様も是非一度ご覧下さい。その夜は、超人気旅館である佐藤ガバナーの乳頭温泉「鶴の湯」に泊めていただき、秘湯を楽しんで帰ってまいりました。もちろん、佐藤ガバナーとは、互いの地区で会員増強を目指す決意を確認してきましたよ。



8月16日に25年ぶりにガザ地区で生後10か月の乳児にポリオの感染が確認されたというニュースが流れました。このため、9月1日から10歳未満の約64万人の児童にポリオのワクチンを接種するため、イスラエル軍とハマスの戦闘が3日間休止となり、WHO等による経口ワクチンの接種が行われたと報じられました。ガザでは昨年10月からのイスラエル軍の攻撃で上下水道等のインフラに被害が生じ、ゴミが放置されて衛生環境が悪化し、感染対策が難航しているといえます。一旦根絶した地域でも、感染対策を疎かにするとポリオは再び蔓延する危険を孕んでいることを思い知らせるニュースとなりました。私たちは、この機会に、ポリオの根絶を大いに知ってもらいたいと思います。

9月22日、能登地震の被災地である石川県輪島市や珠洲市に大雨特別警報が発令され、大雨で川が氾濫するなどして多数の被害が発生しました。執筆時点では6名の死亡が確認されたという大変痛ましい事態となっています。地震の復旧復興も進まない中での今回の豪雨災害、私たちは被災者の方々に心を寄せてできる支援を継続したいと思います。

9月のスポーツの話題といえば、大相撲秋場所、大の里の優勝と大関昇進、尊富士も復活して余裕の十両優勝、幕内にようやく戻って来そうです。来場所が楽しみです。ドジャースの大谷選手は9月20日、前人未踏の50-50を達成しました。大谷選手のメジャーリーグでの活躍は、私たち日本人をいつも勇気づけてくれます。

さて、10月12日、13日はいよいよ地区大会です。沢山のロータリアンの皆様とお目にかかることを楽しみにしております。五所川原で会いましょう。



## 今月のガバナーメッセージ

### 「参加し、交流し、行動して、 ロータリーを楽しもう」

ガバナー 花田 勝彦

**地** 区要覧や公式訪問などでもお話ししておりますが、この言葉は、この7月から国際ロータリーの理事に就任された水野功第2750地区PGの言葉です。

昨年7月のガバナー懇談会でのご挨拶のときに出てきた言葉だったと思います。

「ロータリーを楽しむ」ということは、今年のクラブ会長の目標でも多く取り上げられており、ロータリー活動を続けていくための根本と言ってもいいことです。1989-90年度のRI会長ヒュー・アーチャーのテーマ「Enjoy Rotary」は、水野理事がRotaryに入会した時のテーマだそうです。では、どのようにしてロータリーを楽しむのか、と問われると、千差万別、楽しみ方はひとそれぞれ、となりがちです。そこでそうではなく、ロータリーを楽しむためには、まずは参加すること、そして参加者と交流し、次の行動に繋げていくことでロータリーを楽しむのだ、というプロセスを提示した言葉として、私の中では全く腑に落ちた言葉となったわけです。

「参加」に躊躇することもあるでしょう。日々の業務に忙殺され、つかの間の休日は休みたい、今度のロータリーの行事は欠席しよう、ということはよくあることだと思います。皆様色々な事情を抱えて、それでもロータリーに時間を割いていただけるのは、大変ありがたいことです。そして、願わくはその参加した時間が、その人にとって有意義であって欲しいと思います。

参加したら、参加者と「交流」する。所属クラブでの例会や奉仕活動を通じて、地元の様々な方と出会う機会が増えると、次に地区や他の地区にロータリーを通じて知り合う機会が出てきます。多くの活動に参加することによって、知り合う方々と交流する機会を得ることができるのです。こうして交流した人との繋がりが、色々な場面で役立つことになるでしょう。

そして、「行動」することに繋がります。この「行動」というのは、ロータリーの役職を断らずに担当することが一つの大きなものを占めると思います。ロータリーは、「はい」か「YES」か「喜んで」ということをよく聞く事がありますね。水野さんはそれに「待ってました」を加えて四つの返事しかない、などと冗談交じりに仰います。水野さんご自身、ガバナーにしても、その他の役職にしても、引き受けるまでには大いに葛藤があったと述べておられます。自分の限りある時間をどこに割くのか、というその人なりの優先順位の中で、参加し、交流した人たちとの出会いを大切に、そこから広がる沢山の方への思いやりの気持ちをもって行動に繋げる。ロータリーの役職に就くことが、行動することを最も実感しやすいのかも知れません。

これを他人から強制されるのではなく、自分で選んで積極的に行っていくこと。それこそがロータリーを楽しむことなのだ、ということなのでしょう。そういう意味では、私自身、今本当にロータリーを楽しんでいます。入会してから、ここまでロータリーを楽しんだことはなかったと思います。それはガバナーという役職を担当させていただいたことによって、多くの機会を得ることができたのだと思うのです。皆さんも、断らずに積極的に役割を引き受けてもらうことをお勧めいたします。

## 月間テーマ

## 地域社会の経済発展月間について

ガバナー 花田 勝彦

10月には国際ロータリーの7つの重点項目の6番目、「地域社会の経済発展」の月間とされています。日本では、独自にこの月を米山月間とも定めています。

ロータリーは、地域社会の経済発展、すなわち地域社会とそこに住む人びとが経済的、社会的に自立できる道をひらくための活動を重点分野の一つに掲げています。

世界的な活動を概観すると、まずは、農業の促進や農村支援プロジェクトにより、貧困地域(発展途上国だけでなく、先進国でも)に農業を普及するための支援を行い、作物の植栽や持続可能な農業方法の研修を行っています。アフリカ・タンザニアにおける、アルビニズム(先天性白皮症)の人びと(アルビノ)への迷信や偏見の撲滅活動、紫外線から身を守る対策の普及活動といった人権擁護活動もこの分野の活動に含まれます(<https://www.rotary.org/ja/rotary-helps-tanzanians-albinism#Tanzania>)。

米国内の先住民保留地で電気が行き届かない地域にソーラーライトを設置する活動を行ったり(<https://www.rotary.org/ja/rotarians-bring-light-navajo-checkerboard>)、露天商や織物の職人等の小さな商売を立ち上げるための小口融資を行っている地域もあります。こうして世界中でのロータリアンの活動を見ますと、経済的な格差や貧困を少しでも解消するための活動が求められ、多くの仲間達がそのような活動を実際に行っていることに改めて気づかされます。

日本でも、この分野における活動が紹介されています。ロータリーの友2020年10月号では、北海道のコンビニで有名なセイコーマートの丸谷会長の「地域と共に歩む経営」という講演録が掲載されていました。民間企業として、赤字にならずに、過疎化が進む地域において、どのようにして住民のニーズに応えるのか、そしてそこで働く人をどうやって確保するのか、災害時の対応など、具体的で血の通った経営が語られています。

2023年10月号では、「若者の自立促す支援のカタチ」という特集記事が組まれていました。児童支援施設を退所し、社会に放り出される若者に必要な支援を提供し、自立を手助けする活動が紹介されています。最低賃金が1,000円を超えても、ワーキング・プアといわれる経済的に成り立たない労働者がなくならない状況が日本にも存在しています。「未然予防」と「自己決定」をキーワードに、この状態を改善する活動を行っています。

ロータリアンには、地域社会の経済において中心的な役割を果たしている方が多くいらっしゃいます。そのような立場にある私たちが、地域社会の経済発展に関心を持ち、普段から身近なことに力を貸し、手を差し伸べる活動を行うことが、この月間が設けられた意味であると感じます。



## 地域社会の経済発展



## ロータリー特別月間

## 「母国と日本の懸け橋」となれるように

米山記念奨学委員会 委員長 佐藤 一尚  
(青森RC)

**国**際ロータリー第2830地区米山記念奨学委員会委員長を仰せつかっております佐藤一尚(青森RC)と申します。平素は当委員会に対し、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。そして、当委員会に有能なロータリアンをご輩出頂き、重ねて感謝申し上げます。ありがとうございます。

今なお暑い日々が続いていますが、暦ではもう10月。10月といえば、米山月間となっております。現在当地区でお預かりお世話をさせて頂いている米山奨学生は継続4名、新規7名の計11名となっております(令和6年9月現在)。現在お世話頂いているお世話クラブ・カウンセラーの皆様には一方ならぬご理解とご協力を賜っております。また、米山奨学生の受け入れには地区内ロータリアンの皆様の貴重な浄財があって成り立つものです。地区内の各クラブ会長はじめロータリアンの皆様に、改めて感謝申し上げます。

現在、米山奨学生は学業やお世話クラブでの活動はもとより、各クラブから依頼を頂き、卓話を通じて自身の紹介や研究成果などの発表をしております。今年5月に実施された卓話講習会で制作した内容を、更にブラッシュアップさせた内容でお届けしております。たどたどしかった日本語もスムーズに話せるようになり、彼らの成長が驚くべきスピードで遂げられている事にびっくりしてしまいます。今後もお依頼頂いているクラブへ訪問させて頂きます。是非とも、そんな米山奨学生の姿を見て頂き、彼らにエールを送って頂ければ幸いです。

また、米山記念奨学委員会では今後も様々な行事を予定しております。地区内の皆様にもご参加願いたい行事もありますので、その際はご案内をさせて頂きます。また、地区大会などの地区行事でも米山奨学生と会う機会があろうと思っております。米山奨学生が目指すべき「母国と日本の懸け橋」となれるよう、当委員会でもしっかり支えて参ります。

初委員長として、思うように出来てない部分が多々あり、米山奨学生のみんなや地区内各クラブの皆様はご面倒お掛けしているかと思いますが、引き続きのご理解とご協力を、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

2024-25年度 第2830地区 米山記念奨学生

氏名	氏名(カナ)	性別	国籍	預かり期間	学校名称	課程	学年	世話クラブ	カウンセラー	
門士虎	モンシラ	男	中国	2023/4/1	2025/3/31	弘前大学	医博	4年	弘前西	佐藤玲恵子
ウイ、シーメイ	ウイ、シーメイ	女	マレーシア	2023/4/1	2024/9/30	青森中央学院大学	学部	4年	青森モーニング	本堂きみえ
程 佳萌	チヨウ ケイモウ	女	中国	2023/4/1	2025/3/31	八戸学院大学	学部	4年	八戸	村上壽治
孫 佳琰	ソン ケン	女	中国	2023/4/1	2025/3/31	北里大学	獣学	6年	十和田	佐々木千佳子
烏 仁図雅	ウ コノア	女	中国	2024/4/1	2025/9/30	弘前大学	修士	1年	弘前東	工藤孝子
張 芸馨	チヨウ ゲンシン	女	中国	2024/4/1	2026/3/31	青森大学	学部	3年	青森北東	石川努
叶 文婷	エフ ブンテイ	女	中国	2024/4/1	2025/3/31	青森中央学院大学	修士	2年	弘前	鈴木直子
チャンフォンジャン	チャンフォンジャン	女	ベトナム	2024/4/1	2024/9/30	青森中央学院大学	学部	4年	弘前アップル	三浦順子
サイスツツ、パティター	サイスツツ、パティター	女	タイ	2024/4/1	2025/3/31	青森中央学院大学	学部	4年	野辺地	野坂幸子
连炜恩	レンウェイエン	女	マレーシア	2024/4/1	2026/3/31	青森中央学院大学	学部	3年	青森	伊藤幸生、田中桂子
マークボディー、ブンカニ	マークボディー、ブンカニ	女	タイ	2024/4/1	2026/3/31	北里大学	獣博	3年	十和田東	白濱道義

## ガバナー公式訪問

### ■三戸ロータリークラブ 8月21日



岩手県境の伝統あるクラブは、会員9名ながら、親睦の三戸といわれるだけあり、本番は懇親会です。自治体、学校、マスコミをはじめ、奥様や元留学生、近隣クラブのメンバーやはてはライオンズまでが参加する総勢50名の大納涼会で地元の皆さんとの親睦を深めました。

### ■五所川原中央ロータリークラブ 8月22日



例会場はホームのホテルサンルート五所川原でリラックスモードです。会員の減少に何とか歯止めをかけるべく、一井会長が新たな試みを計画しています。若手のリーダーが育っていけば、将来性はまだまだ期待できると思います。お互いに切磋琢磨していきましょう！



■青森中央ロータリークラブ 8月26日



原会長率いる会員6名のロータリークラブ。例会をはじめとした運営は古き良き時代の伝統を受け継いでいます。思い切った若手の勧誘により、大きく変わる可能性を秘めたクラブです。ホテルでの昼食では、健康のため、総カロリーを全員で予想します。メンバーは一見して大まかなカロリー計算ができるようになったといいます。

■弘前アップルロータリークラブ 8月26日



クラブのボスといわれる関場パストガバナーのクラブからは、今年度成田学ガバナー補佐に活躍していただいております。八木橋会長と渋谷幹事が中心となり、次を見据えるクラブの基礎を作ってくれることを期待しております！  
米山奨学生のジャンさんも駆け付けてくれました。就職おめでとうございます。

■青森モーニングロータリークラブ 8月27日



鈴木PGのあと次年度10年ぶりにガバナーを輩出する米谷恵司GEのクラブです。40クラブ中21クラブ目と折り返しのスタートの訪問となりました。22名と会員数は伸び悩んでいますが、二度目の橘会長を中心にガバナー年度に向けた準備を着々と進めています。運営はしっかりとされています。地区初の女性幹事長となる最上伸子さんの活躍にも期待しています。

### ■青森北東ロータリークラブ 8月28日



三日連続の中グループ最後の訪問は蛸名AGのホームクラブです。ここも22名のクラブながら伝統的なスタイルを守る由緒あるクラブです。本間会長を中心に堅実な活動を進めています。誕生日のお祝いをしていただき、ありがとうございました。

### ■八戸北ロータリークラブ 9月3日



9月最初の訪問先は北山、源新和彦の2人のPGが所属する八戸北RCです。源新育子初代DEI委員長を中心に、地区のDEIを牽引する会員数38名(女性会員は8名)のクラブの活動に大いに期待しております。

### ■五戸ロータリークラブ 9月4日



来年60周年を迎える伝統あるクラブは、最盛期40名の会員を誇っていましたが、現在は12名と会員増強が急務となっています。4つのテストを刻んだ演台に大いなる歴史を感じます。



### ■八戸南ロータリークラブ 9月5日



年度末にさくらエイト衛星クラブが発足し、一気に会員数を42名まで増強しました。会長幹事会には高畑議長、亀井幹事も出席して、今後の意欲ある活動に繋がります。親クラブの慶徳会長、出貝幹事の運営も素晴らしい、さすが黒田元RI理事、長嶺PGの所属クラブです。W吉田、西尾のニューリーダーを中心に、これからの地区を牽引していきます。築田さんの入会式でバッジとスカーフを贈呈させていただきました。

### ■東北ロータリークラブ 9月9日



蛭沢公洋AGの所属するクラブは、蛭沢達彦会長以下16名が強い絆で結びつく親睦重視のクラブです。これまで以上に学びを意識したプログラムと運営により、若手経営者の勧誘にクラブの成長を重ねていきます。元々退会者は少なく、純増2名の達成は手堅い目標です。

### ■おいらせロータリークラブ 9月11日



会員7名ながら、故川口昭五郎PGを輩出したクラブです。奥様のとく会員はお元気でした。ロータリー旗のリサイクルエコバッグ等製作や六戸町のビオトープ等、特色ある活動をしています。円子会長は10年で6度目、杉山幹事に至っては11年連続という驚きの役員構成です。

## ■十和田八甲ロータリークラブ 9月11日



創立21年の若いクラブながら、会員数83名と地区内2位の会員数を誇ります。ゴルフ、釣り、旬の会という趣味からの親睦を会員増強に繋げる個性輝くクラブです。いち早く正会員の種別を細分化して会費を抑えたり、会長ノミニーがすでに決まっております、3-Year Rolling Goalsの入力を完成するなど、他クラブの追随を許さない先駆性を持っています。

## ■十和田東ロータリークラブ 9月12日



佐々木AGの所属するクラブは今年度60周年を迎えます。地区委員長、地区委員3名だけでなく、意識の高いロータリアンが多いクラブです。台湾の姉妹クラブ締結も50年という長きにわたります。田中会長の本気の会員増強はすでに身を結びはじめており、来月には純増3、すべて女性会員です。さらに勢いに乗っていききたいところです。

## ■三沢ロータリークラブ 9月17日



物腰柔らかな阿部会長率いる三沢RCはここ数年会員数が微減し、変化を進めています。唯一の女性会員である渡辺エレクトが継承する態勢を整えています。バックス奨学基金ゴルフコンペなど、特徴ある奉仕活動を継続しながらの変化に期待しています。



■五所川原イヴニングロータリークラブ 9月18日



地元五所川原の最も新しいクラブながら、島村、成田秀治両パストガバナーを擁するクラブです。小田桐浩ガバナー補佐のホームクラブであり、地区委員でもある成田和代会長、安田幹事の女性バッテリーが伸び伸びと活動できています。

■三沢東ロータリークラブ 9月19日



田中会長は2度目の登板で若い会員が会長を務められるようになるまでベテランが会長職を繋ぐのだと仰っていました。35名の会員ですが、例会は3回に減らして会費を値上げしないという判断をなさいました。お土産に公式訪問記念の盾をいただきました。ありがとうございました。

■八戸東ロータリークラブ 9月20日



出席率100%を誇るこのクラブは、5年先の会長まで予定している計画性が高いクラブです。現在47名の会員を50名に戻し、佐藤晃会長の目標であるロータリーを楽しく活動することを期待しています。例会のテーブルごとにIDMを実施したり、クラブの親睦ゴルフコンペなど、団結が強く感じられるクラブです。



## ホテル青森と私とロータリーの思い出

中グループガバナー補佐 **蝦名 正治**  
(青森北東RC)

**私**が、ホテル青森に入社したのは、1982年(昭和57年)です。最初に配属されたのが宴会場でサービスを担当する宴会サービス課という部署でした。新人が最初にサービス担当で入るのがロータリークラブのサービスのようで、右も左もわからない私にとって大変な思いをした記憶が残っております。ホテルの世界でも昔はスパルタ的な指導が一般的で、先輩から厳しい教育受けました。今でいうハラスメントに近いものがあったように思いますが、吸収するスピードは昔の方が早かったように思います。



さて、当時ホテル青森では2つのクラブの例会を担当しておりました。1つは青森東クラブもう1つは青森北東クラブです。両クラブとも例会時の食事のセッティングは約85席から90席と例会は非常に盛況でした。食事スタイルはほぼ洋食のランチスタイルでお客様が座ったらまず水のサービスから始まります。席にはネームプレートがおかれ会員の名前と顔を覚え席に案内すると、「やっと僕のことを覚えてくれたか」などと声をかけられ嬉しかったものです。メニューはまずスープから始まりパンのサービス、メイン料理はプラッターから1人1人取分ける持ち回りスタイルでした。左手には料理が盛られたプラッター右手には大型のスプーンとフォークを持ち悪銭苦闘の日々が続いたものです。そして、サラダ、デザートと続き最後はコーヒーで締めくくるというパターンでした。その後私は、営業に移動となり現場から離れましたが私がホテルに入社して最初に受けたロータリアンの方々の印象はスマートで紳士的で素敵な方々だと思ったものです。お知り合いになったロータリアンの方々からはいろいろ指導を受けたりマナーを教えてもらったり東京のホテルの情報なども頂きました。

その後時代はバブル経済の崩壊やアメリカ同時多発テロ、阪神淡路大震災など経済的なダメージは大きく旧ホテル青森も中央資本の傘下となり現在のホテル青森となっております、その後も東日本大震災やコロナによるパンデミックなどロータリーを取り巻く環境は決して良いとは言えません、中グループのクラブも6クラブあったクラブは4クラブとなりました。特にリーマンショック後に減少傾向が顕著に進んだように思います。あのロータリークラブが盛況な時代に戻ることは至難の業に思われますが気持ちだけでもあの頃を思い出しながらガバナー補佐の役目をしっかりと果たしてまいりたいと思う今日この頃です。



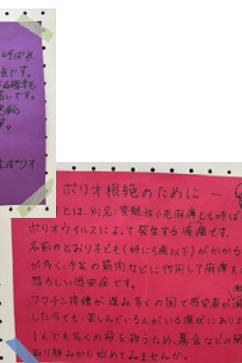
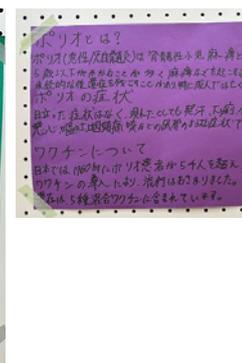
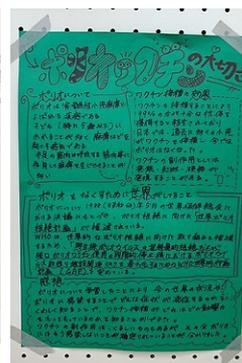
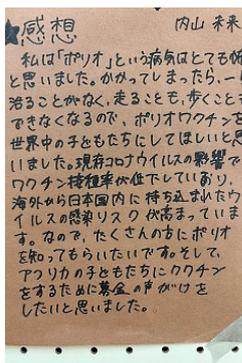
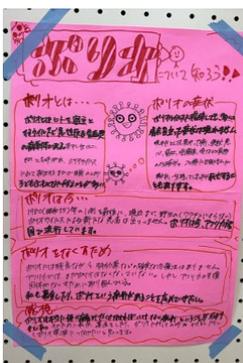


## インターアクトクラブ活動報告

### ポリオ根絶募金活動を経験して

#### 青森県立弘前南高等学校インターアクトクラブ (スポンサークラブ：弘前東ロータリークラブ)

**本** 学校インターアクトクラブは、今年度男子4名、女子13名計17名で活動しています。毎年学校祭で募金活動を行っていましたが、今年はポリオ根絶を目指した募金活動を行うことにしました。まず部員が正しい知識を得る必要があると考え、ロータリアンの方々をお招きして2回勉強会を開催し、3年生はポリオに関する映画も鑑賞し、知識を深めました。また、募金場所を拡大し、ポリオに関する情報を手書きのポスターにまとめて掲示するなど、部員全員で協力しながら準備をしました。当日は、ロータリーのたすきを掛け、大きな声で募金を呼び掛けました。校内を歩きながらの募金活動も積極的に行った結果、例年よりも多い募金額となりました。募金活動をやり遂げた達成感はもちろんですが、来場した多くの方にポリオの歴史と今なお根絶に向けて戦っているという事実を知ってもらう機会を得られて本当に嬉しかったです。これからも、様々な奉仕活動に挑戦していきたいと思えます。



## 会員動向

### 会員動向

#### 【入会者】



戸来 貴洋  
(十和田八甲)  
8月1日入会



矢部 顕治  
(十和田八甲)  
8月1日入会



石川 雄二  
(五所川原)  
8月7日入会



佐藤 活考  
(五所川原)  
8月7日入会



佐藤 大  
(黒石)  
8月2日入会



岩崎 努  
(青森)  
8月22日入会



河田 喜照  
(青森)  
8月22日入会



齋藤 貴史  
(青森)  
8月22日入会



【ご逝去会員】

謹んでご冥福をお祈りいたします。



石橋 敏文（八戸）  
8月26日ご逝去

【退会者】

クラブ名	氏名	退会日
むつ (大畑 R 衛星クラブ)	佐藤 文昭	8月1日
十和田八甲	斎藤 政仁	8月31日
弘前	齋藤 義史	8月1日

## 【ロータリー財団寄付】



沼田 廣  
(青森)  
PHF+8



大野 清隆  
(青森)  
PHF+3



鎌田 忍  
(青森)  
PHF



黒田 正宏  
(八戸南)  
恒久基金-シェア

## 【米山記念奨学会寄付】

<米山功勞者>



三浦 基  
(青森)  
第1回



2024年8月会員数の増減及び出席率表

グループ	クラブ名	例会数	出席率 %	正会員数								My Rotary 登録率 %
				前月末 会員数	入会	退会	8月末 会員数	女性 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	
東第一グループ	むつ (うち、むつ大畑)	3	100.00	51 (9)	1 (1)	1 (1)	51 (9)	3 (1)	50 (9)	2 (1)	1 (1)	27.45
	野辺地	3	85.10	13	0	0	13	2	13	0	0	100.00
	七戸	3	76.52	12	0	0	12	2	11	1	0	16.67
	東北	3	72.90	16	0	0	16	2	16	0	0	81.25
	むつ中央	2	63.00	20	0	0	20	0	20	0	0	15.00
	六ヶ所	3	79.00	36	0	0	36	1	32	4	0	25.00
	小計				148	1	1	148	10	142	7	1
東第二グループ	三沢	3	63.49	23	0	0	23	1	23	0	0	39.13
	十和田	3	100.00	35	0	0	35	10	34	1	0	28.57
	十和田東	4	50.40	25	1	0	26	3	25	1	0	57.69
	おいらせ	3	72.00	7	0	0	7	1	6	1	0	42.86
	三沢東	3	65.00	34	0	0	34	3	34	0	0	32.35
	十和田八甲	3	69.40	82	2	1	83	1	80	4	1	34.52
	小計				206	3	1	208	19	202	7	1
西第一グループ	五所川原	3	58.80	54	2	0	56	6	52	4	0	73.21
	金木	4	74.00	12	0	0	12	1	12	0	0	8.33
	鱒ヶ沢	2	71.80	16	0	0	16	2	16	0	0	37.50
	鶴田	2	87.50	8	0	0	8	1	8	0	0	37.50
	五所川原中央	4	50.00	25	0	0	25	2	25	0	0	40.00
	つがる	3	70.70	33	0	0	33	0	30	4	1	33.33
	五所川原イヴニング	2	60.00	25	0	0	25	7	25	0	0	56.00
	小計				173	2	0	175	19	168	8	1
西第二グループ	弘前	3	70.60	48	0	1	47	3	45	3	1	54.17
	弘前東 (うち、弘前東桜華)	2	78.60	12 (4)	0 (0)	0 (0)	12 (4)	4 (2)	13 (5)	0 (0)	1 (1)	50.00
	板柳	2	75.00	10	0	0	10	0	10	0	0	40.00
	黒石	3	77.00	21	1	0	22	3	20	2	0	50.00
	大鱧	3	55.00	9	0	0	9	0	9	0	0	33.33
	弘前西	2	100.00	32	0	0	32	6	30	2	0	62.50
	平賀・尾上	2	27.70	9	0	0	9	0	9	0	0	33.33
	弘前アップル	3	86.00	16	0	0	16	2	16	0	0	75.00
小計				157	1	1	157	18	152	7	2	
中グループ	青森	3	62.40	104	3	0	107	9	105	4	2	99.07
	青森北東	3	77.10	22	0	0	22	3	22	0	0	68.18
	青森中央	2	100.00	6	0	0	6	1	6	0	0	33.33
	青森モーニング	2	59.52	21	0	0	21	4	21	0	0	61.90
小計				153	3	0	156	17	154	4	2	
南グループ	八戸	3	79.30	66	0	1	65	0	65	1	1	40.63
	八戸東	3	100.00	47	0	0	47	0	46	1	0	55.32
	三戸	3	96.00	9	0	0	9	1	9	0	0	88.89
	五戸	3	72.20	12	0	0	12	1	12	0	0	50.00
	南部	3	66.60	9	0	0	9	0	9	0	0	44.44
	八戸北	3	66.60	38	0	0	38	8	38	0	0	52.63
	八戸南 (うち、八戸南さくらエイト)	2	70.00	42 (11)	0 (0)	0 (0)	42 (11)	11 (11)	39 (11)	3 (0)	0 (0)	71.43
	八戸中央	3	61.10	20	0	0	20	5	20	0	0	45.00
	八戸西	3	56.70	33	0	0	33	20	33	0	0	48.48
小計				276	0	1	275	46	271	5	1	
合計 40RC				1,113	10	4	1,119	129	1,089	38	8	

※ ( ) 内は衛星クラブの会員数です

期首会員数は2024年6月末会員数です

7月1日の会員数は名です

8月末現在の入退会人数です

地区行事予定

2024年10月 地域社会の経済発展月間/米山月間

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(火)	ガバナー公式訪問 南部RC	バーデハウス アヴァンセ
2	(水)		
3	(木)	ガバナー公式訪問 八戸西RC	八戸プラザホテル
4	(金)		
5	(土)		
6	(日)		
7	(月)		
8	(火)		
9	(水)	ガバナー公式訪問 五所川原RC	ホテルサンルート五所川原
10	(木)		
11	(金)		
12	(土)	会長幹事会・地区指導者研修セミナー R I 会長代理歓迎晩餐会	ホテルサンルート五所川原
13	(日)	地区大会・大懇親会	オルテンシア / プラザマリュウ
14	(月)	スポーツの日	
15	(火)		
16	(水)		
17	(木)		
18	(金)		
19	(土)		
20	(日)	津軽鉄道ポリオジャック in 五所川原	立佞武多の館 / 津軽鉄道客車内
21	(月)		
22	(火)		
23	(水)		
24	(木)		
25	(金)		
26	(土)		
27	(日)		
28	(月)		
29	(火)		
30	(水)		
31	(木)		



地区行事予定			
2024年11月    ロータリー財団月間			
月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(金)		
2	(土)		
3	(日)	文化の日	
4	(月)	振替休日	
5	(火)		
6	(水)		
7	(木)		
8	(金)		
9	(土)		
10	(日)	第2回RLI委員会	オンライン
11	(月)		
12	(火)		
13	(水)		
14	(木)		
15	(金)		
16	(土)	西第1グループIM	ホテルサンルート五所川原
17	(日)		
18	(月)		
19	(火)		
20	(水)		
21	(木)		
22	(金)		
23	(土)	勤労感謝の日 ポリオワクチン投与活動（～27日）	パキスタン・カラチ
24	(日)		
25	(月)		
26	(火)		
27	(水)		
28	(木)		
29	(金)		
30	(土)		

## 訃 報

現地区補助金委員会委員で 2022-23年度中グループガバナー補佐を務められた新岡壮太郎氏(青森モーニングRC)が9月22日にご逝去されました。これまでの当地区におけるご活躍に感謝申し上げますとともに、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。



### 編集後記

ロータリーの新年度が始まり、もう10月「米山月間」です。

ロータリーにおいて、あるいは私たちにとってこの月間はどのようなものなのでしょう？ 私はまず、『世界の平和を願った』米山梅吉の想いについて考えるため、ロータリーの友のアーカイブにて幾つか調べてみました。その中で、千玄室氏の「一盃からピースフルネスを」(ロータリーの友2022年9月号24~33ページ)という記事が特に目を引きました。ご存知の方も多いと思いますが、千玄室氏は、ご自身の第二次世界大戦での体験から生まれた「平和構築の使命」を全うするという思いを、日本だけに留まらず世界に広め、ロータリーの哲学と共に平和と調和というメッセージを伝え続けて来られた方です。

私はこのお二方に共通している点は、それぞれの時代を生き、それぞれの「平和構築」の想いをロータリーにも残そうとされている所だと思いました。現在、この困難な時代を私たちは生きていますが、この友の記事を読んで思ったのは、私にとっての米山月間は、米山の「他人への思いやりと助け合い」の精神や、千氏の「和敬清寂」の心を思いつつ将来に思いを馳せ、奉仕活動する月間なのではないか？ という事です。私は今まで、あまりこの月間を深く考えずにいましたが、そのような切り口から米山事業を理解していくのもいいかも知れない、そして同時に、できればそのような心でありたいと思いました。

「和敬清寂」とは？

和・・・お互いに心を開いて仲良くする

敬・・・お互いに敬いあう

清・・・目に見えるだけの清らかさではなく、心の中も清らかである

寂・・・どんなときにも動じない心

ガバナー月信 編集後記担当 増田 卓也  
(五所川原ロータリークラブ)